

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	43	59	百日咳	0	4
RSウイルス感染症	0	1	ヘルパンギーナ	166	120
咽頭結膜熱	28	24	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	16	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105	113	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	598	606	流行性角結膜炎(はやり目)	7	24
水痘	50	50	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	124	111	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑(りんご病)	1	0	マイコプラズマ肺炎	0	2
突発性発しん	37	49	クラミジア肺炎	0	1
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	4

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- 手足口病

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎：山鹿、菊池、有明、宇城
 手足口病：八代、水俣、宇城、人吉
 ヘルパンギーナ：菊池、宇城
 咽頭結膜熱：山鹿

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフル	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	13		12	39	117	9	26	1	11		29	11		7		1			4
山鹿保健所	1		6		48	3			1		5		*	*					
菊池保健所	18		6	19	104	4	5		8		43	2							
阿蘇保健所					2								*	*					
御船保健所				1	3	4	1				1		*	*					
八代保健所	3			5	59	11	29		2		11	1							
水俣保健所	1		2		8	1	15		1		1		*	*					1
人吉保健所				7	53	2	19		5		1		*	*					
有明保健所	2			5	123	7	8		4		21	1							
宇城保健所	1			18	61	2	18		2		42		*	*					
天草保健所	4		2	11	20	7	3		3		12	1							
計	43		28	105	598	50	124	1	37	0	166	16	0	7	0	1	0	0	5

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	43		2	2	1	5	4	3	1	1	6	3	1	3	1	6	1	2	1		
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	0																				
咽頭結膜熱	28		5	8	5	6	2		1			1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105			4	3	12	15	22	15	9	11	2	11		1						
感染性胃腸炎	598	10	44	79	68	65	50	55	45	29	33	26	53	9	32						
水痘	50	1	3	12	13	8	3	4	1	4		1									
手足口病	124	1	5	41	25	25	14	7	4		1	1	1								
伝染性紅斑	1							1													
突発性発しん	37	1	18	15	3																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	166		15	53	44	27	16	8			1	1	1								
流行性耳下腺炎	16		1		1	2	3	4		2	1	2									
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	7												1		1	1	1	1	2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1						1														
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	2	3																		

ヘルパンギーナと手足口病に注意しましょう

先週に引き続き、ヘルパンギーナが増加しました。今年は、例年より増加の時期が早いので、この病気にかかりやすい乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、特に予防対策をしっかりと行いましょう。地域別では、菊池と宇城が警報レベルとなっています。手足口病は、やや増加しました。地域別では、八代、水俣、宇城に加えて人吉が警報レベルとなりました。

ヘルパンギーナや手足口病は夏場に流行する感染症です。どちらの病気にも共通して言えますが、原因となるウイルスにはいくつかの型がありますので、何度もかかってしまうことも珍しくありません。そのため、予防対策をしっかりと行いましょう。



感染経路 ※手足口病もヘルパンギーナも感染経路は同じです。

- ・飛まつ感染—咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染します。
- ・経口・接触感染—水痘のなにかみや便に排出されたウイルスが手をつたい、口や眼などの粘膜に入ると感染します。

予防策

- ・手足口病やヘルパンギーナにはワクチン(予防接種)はありません。
- ・外出後、食事の前、トイレの後などは手洗いやうがいをお願いします。
- ・タオルを共用することは避けましょう。
- ・おもちゃや食器などの消毒には次亜塩素酸ナトリウムが有効です。
- ・登園・登校時期については主治医に相談しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課